

ワシントン条約 40 周年記念シンポジウム ワシントン条約の動向と日本への期待

条約事務局長スキャンロン氏 基調講演

日時：2013年 8月 21日(水) 14:00 (13:30 受付開始) ~ 17:45
会場：東京大学 弥生講堂 一条ホール

参加費
無料



主催：トラフィック イーストアジア ジャパン (WWF ジャパン)
後援：外務省

■参加方法：「シンポジウム参加申込」と明記し、①お名前、②ご連絡先 (E メールまたは FAX 番号)、③所属を記載し、メールまたは FAX にてお申込みください。

■お申込み・お問い合わせ先：トラフィック イーストアジア ジャパン

TEL : 03-3769-1716 FAX : 03-3769-1717

E メール : traffic@trafficj.org

【当日参加も可能です ※定員になり次第受付を終了いたします】

※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムの運営管理及びこの取り組みに関するご意見をお伺いする等の問い合わせのためにのみ使用いたします。ご記入は任意ですが、必要な情報の記入がない場合はシンポジウムに関するご連絡やお問い合わせが出来ない場合がございます。個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加または削除、利用停止、消去及び第三者提供停止などのお問い合わせは個人情報保護係 (privacy@wwf.or.jp, Tel: 03-3769-1719) にて承ります。公益財団法人世界自然保護基金ジャパン 個人情報保護管理者 (事務局長) ■上記についてご同意いただいた上で個人情報を記入ください。



詳細は ▶ <http://www.trafficj.org/sympo.html>

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

写真クレジット 1: ©Anthony B. Rath / WWF-Canon, 2: 5-6-10: ©Martin Harvey / WWF-Canon, 3-7: ©naturepl.com / Edwin Giesbers / WWF-Canon, 4: ©Roger Leguen / WWF-Canon, 8: ©Folke Wulff/WWF-Canon, 9: ©J. gen Freund / WWF-Canon, 11: ©Michel Roggo / WWF-Canon, 12: ©Anton Vorauer / WWF-Canon



日本は、世界でも有数の野生生物の輸入国であることをご存知ですか？

たくさんの野生生物を世界中の国々から持ち込んでいる日本は、世界の生物多様性の保全に対して大きな影響力を持ち、大きな責任を負っています。

ワシントン条約は、無秩序な取引から種の存続を脅かされている野生生物を守るための国際合意として 1973 年に発効し、今年で 40 周年を迎えました。ワシントン条約の取り組みは、加盟国が協力して取引を規制することにより、これまで多くの種の絶滅を食い止め、持続可能な野生生物利用に貢献してきました。一方で、途上国など一部の国や地域では、資金や人材の慢性的な不足から、違法取引に有効な歯止めをかけることができず、厳しい状況が続いています。これまで以上の支援と協力がなければ、絶滅を阻止することが今後さらに難しい状況となってゆきます。野生生物の輸入国、水産資源消費国として日本の果たすべき役割は大きく、積極的関与が期待されています。

今回のシンポジウムでは、ワシントン条約 40 周年記念と条約事務局長ジョン・スキャンロン氏の来日に合わせて、野生生物取引の課題に対する国内の啓発と国際協力を推進するとともに、日本がどのように貢献していくべきなのかを考えます。

基調講演

ジョン・スキャンロン氏
ワシントン条約事務局長

2010 年事務局長に就任。
法律を専門とし、国際機関およびオーストラリア国内にて、環境関連の政策部門の主任や法律分野のアドバイザーの経験を持つ。その功績により、2011 年オーストラリアの勲章を受章。



講演者・プログラムの内容は変更になることがあります。
※敬称略

オープニング

来賓挨拶 ◆北川 知克
衆議院議員 自民党政調環境部長
外務省挨拶 ◆杉中 淳
外務省 国際協力局 地球環境課長

【英語の講演者には逐次通訳がつきます。】

第 1 部 野生生物取引の国際動向と日本

◆藤稿 亜矢子
トラフィック イーストアジア ジャパン 代表
「国際動向と NGO の取り組み」

◆小林 健一
経済産業省 貿易経済協力局貿易管理部
野生動植物貿易審査室 課長補佐
「CITES 貿易管理における現状について」

◆荒牧 まりさ
環境省 自然環境局野生生物課 取引監視専門官
「種の保存法による国内の流通規制について」

ワシントン条約：絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約
Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: CITES

第 2 部 責任ある水産種の管理のために ―サメを事例として―

◆グレン・サント
トラフィック インターナショナル 海洋プログラムリーダー
「責任ある海洋資源の利用―サメを事例に」

◆太田 慎吾
水産庁 増殖推進部漁場資源課 生態系保全室長
「サメの保存管理に関する日本政府の取り組み」

◆石村 学志
北海道大学 サステナビリティ学教育研究センター 特任助教
「“持続的” サメ漁業をめざして
―レジリエンスを持った地域産業育成の必要性」

◆齋藤 徹夫
気仙沼遠洋漁業協同組合 代表理事組合長
「気仙沼のサメ漁業」

パネルディスカッション

ファシリテーター：山内 愛子
WWF ジャパン 水産プロジェクトリーダー



東京大学 弥生講堂 一条ホール
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内
<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

会場

【東京メトロ南北線 東大前駅徒歩 1 分】

■お申込み・お問い合わせ先

トラフィック イーストアジア ジャパン (WWF ジャパン)
〒105-0014 東京都港区芝 3-1-14 日本生命赤羽橋ビル 6 階
TEL : 03-3769-1716 FAX : 03-3769-1717

E メール : traffic@trafficj.org URL : <http://www.trafficj.org>